

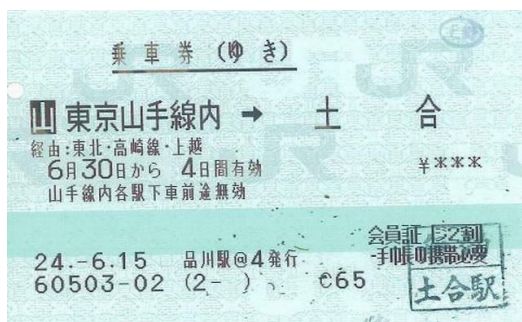
2012年谷川岳山開き・柴崎君の一周忌追悼

期日 2012年6月30日(土)、7月1日(日)

参加者 金井・大和・横山・神谷・福沢・永野・杉本 7名

記 神谷 進

昨年に続き今年も7月第一日曜日の谷川岳山開きに合せ前日の土曜日に上野発23時33分の臨時電車が運行された。



土合駅地下ホームでの出迎

5名が電車、2名が車で土合駅で待ち合わせとの事で、それぞれ出発。

電車組は各自乗車券を購入し、上野駅を出発。車内は意外と空いていたので5名は指定席を購入し



土合駅で差し入れのけんちん汁を頂く

ていたが席を移動し、大和、神谷は一晩中話し込み一睡もしていない内に3時に土合駅に電車は滑りこんだ。



土合駅前での三国太鼓演奏



慰霊塔前の広場（開山式会場）

ここが終点なのでのんびりとホームに降りる。日本一のモグラ駅階段入り口にはサーチライトが照らされ歓迎横断幕を地元の人たちが持ち、夜行電車から降りてくる乗客を迎えてくれ感激する。

長い階段を半分近く登ると「ヤッチョ！、ヤッチョ！」と階段上に良く響くコールが聞こえ、こちらもコールを返し、車組の福ちゃん・永野の出迎えを受ける。頭上に出たところで観光協会達の「けんちん汁」の差し入れ受け感激した（去年は無かった）。

駅前広場には大きな漁火とキャンドルが多数並べられ幻想的空間をかもし出している。

駅前広場で一休み後、福澤、永野の車を駅前広場に置き、山開き会場である慰霊塔広場に移動する。辺りはまだ暗かったが会場に着く頃は明るくなり、どんよりとした空模様だ。

開山式前に三国太鼓が披露され迫力満点だ。会場には群馬県知事をはじめ行政関係、水上山岳会の面々、都岳連、千葉岳連、群馬岳連等の山関係、



幽ノ沢中州に作ったケルン



ケルンを囲んで

警察、消防などが招集され宮司による神事がはじまる。

約一時間の行事が終わり、我々も幽ノ沢に向かい歩きだす。今にも降り出しそうなどんよりとした空模様だが眠気を我慢しながらブラブラと向かう。まだ朝が早いせいか登山者、観光客はほとんど見当たらない。

通り慣れた道を雑談しながら一ノ倉沢出合いを過ぎ、幽ノ沢に向かう。



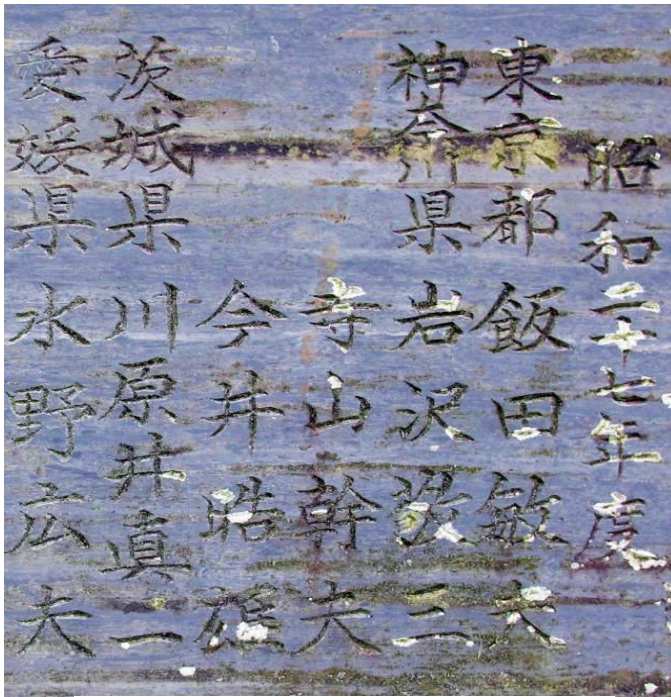
出合いからそのまま幽ノ沢に入り、10分位進んだ所で昨年追悼した小さな中州に着く。そこで驚いた事に昨年積んだケルンがほとんど無傷で立っているではないか！！この雪深い沢で増水に崩されることなくツンとした姿で残っているとは…「柴崎の念力」がケルンに伝わっているかのような感銘を受ける。

早速持参した献花、お供物、お神酒等を供え柴崎の供養をする。時間もたっぷりあるし、降雨もなさそうなのでお供物、お神酒を戴きながら懇談する。それぞれが過去にあった山での厳しかった山行、事故等の思いで話しなどを話し、特に福澤の西丹沢、越後の話は初公開でもあり、一同聞き惚れていたようだ。

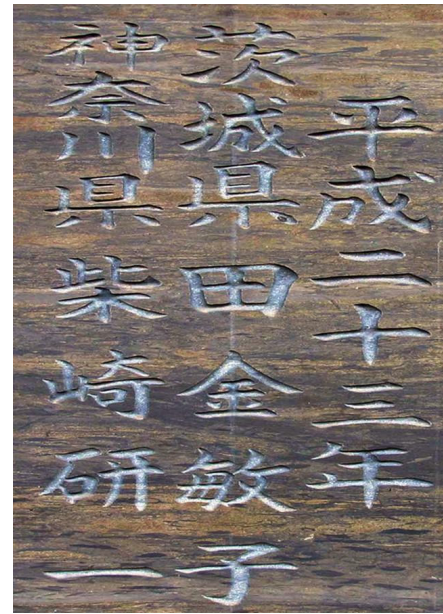


帰りはマチガ沢出合いまで一気に歩かされ、バテ気味。この頃になると観光客も入ってきて林道も賑やかで挨拶を返すのも大変だ。

慰霊碑で岩沢さん、水野さんの刻印と柴崎の名前に合掌し、土合駅のそばにある「谷川岳ドライブイン（土合山の家経営）」に寄り、14時発臨時電車まで時間を過す。福澤、永野はここで別れる。



S27年に遭難した我が会の先輩会員
岩沢敬三さんと水野広夫さんの碑



遭難者名簿が刻まれた慰霊碑
柴崎研一さんの碑

コースタイム

6月30日（土）曇り

上野駅発 23:33

7月1日（日）曇り

土合駅着 3:00（車組の福沢、永野と合流）——土合駅発 3:20——

3:45 慰霊塔広場——4:00～5:00 開山式 5:05——5:50 マ

チガ沢出合 6:05——6:30—ノ倉出合 6:55——7:30 幽ノ沢

（柴崎ケルン前）9:05——9:30—ノ倉沢出合 9:35——10:

00 マチガ沢出合 10:20——11:30 谷川岳ドライブイン 13:3

0（車組の福澤・永野と別れる）——13:35 土合駅 14:00——1

6:48 上野駅